

「ガールズ天下プロジェクト」

女子目線で 移住誘おう

本県の魅力や発信法

語る 前橋で
イベント



本県の魅力を発掘・発信し、住み続けたいとなる場所に変えていこうと、県外から移住した女性ら9人が立ち上げた「ガールズ天下プロジェクト」（奈良のりえ代表世話人）のキックオフイベントが28日、前橋市本町の前橋まちなか研究室で開かれた。女性経営者やプロジェクトメンバーからは「群馬の良さをもっと積極的にアピールすべきだ」との意見も出た。集まった参加者50人は情報発信の手法などについて意見交換した。

移住者から見た本県の魅力などについて意見を交わしたキックオフイベント

県産業支援機構総合相談課長の瀬古裕美さんと、訪問介護ステーション「CO-COLO」社長の雅楽川陽子さんによるトークセッションでは、本県の魅力や活動のヒントについて話し合った。

魅力の発信について、雅楽川さんは「PRがうまくいっていない。まずは『群馬が大好き』と声に出して、身近な人に伝えていってほしい」と強調。瀬古さんは今後の活動について「思い切って動くことで、渦が生まれる。発足がゴールではなく、考える場所を作っていくってほしい」とアドバイスした。

プロジェクトの中核メンバー4人も紹介され、東京都出身で、片品村で猟師をする同村地域おこし協力隊員、本間優美さんや、京都府出身で、甘楽町のNPO法人「自然塾寺子屋」で働く森栄梨子さんが本県の印象や誇れる部分などについて語った。

プロジェクトは県外から移住する人を増やすことなどが目的。移住者や女性の視点を生かして魅力の発信

につなげようと発足した。今後もトークイベントを企画し、参加者同士の情報交換やネットワーク作りに取り組む。

代表世話人で、エフエム

群馬のパソナリテイの奈良さんは「活動メンバーを増やし、元気な群馬を作っていきたい」と話していた。